

東金文化会館大小ホールにおいて吹奏楽、合唱等の演奏会や練習会、及び記録会を実施する際の留意点について（ステージ上で確保すべき出演者間の距離について）、以下の通りお知らせいたします。

大小ホールをご利用の際には当館担当職員と十分に打合せをした上でご計画下さい。

※留意点の設定については

◎公益財団法人 全国公立文化施設協会      ◎一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

◎公益社団法人日本オーケストラ連盟      ◎公益社団法人日本演奏連盟

◎全日本合唱連盟

等より発表された新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドラインを参考にしています。

## ◇合唱活動

### ①マスク無しの場合

→歌い手間の距離は、概ね前後 2 m、左右 1 m を最低限確保する。

※原則として同一方向を向き、演奏途中で移動しないことを前提とする。

### ②マスクを使用した場合（マウスシールド、マウスガードはマスクの定義に含みません）

→歌い手間の距離は、概ね前後 1 m、左右 50 c m を最低限確保する。

### ③合唱団とオーケストラ団員、ソリスト、他演奏者との距離

→水平距離で最低 2 m 確保する。

### ④歌唱位置から客席最前列までの距離

→水平距離で最低 3 m 以上確保する。

## ◇演奏活動

### ①演奏者間の距離

→すべての演奏者は十分な間隔（概ね 1.5m以上）を保持する。

※トランペット、トロンボーンは前方の演奏者との距離を 2 m確保する。

### ②指揮者と演奏者の距離

→ 2 m以上確保する。

### ③演奏者の位置から客席最前列までの距離

→最低でも舞台から水平距離で 2 m以上の距離を確保する。

### ④その他の飛沫飛散防止策

→管楽器の結露は床に直接落とさず、布及び紙などに吸収させ、演奏者自らが指定の場所にて処分すること。

=====

反響板やひな壇を利用する場合、上記の距離確保によりステージ上の**演奏者数が大きく制限される**場合があります。

ご利用の計画には当館担当職員と綿密な打合せが必須となります。